



オーストリア・ ウィーン体験記

交換留学

ウィーン経営・経済大学

佐藤曜有

1

もくじ

ウィーンを紹介

留学先大学の紹介

留学中の様子

自己の成長

研究内容の報告

2



ウィーンってどんな所？

- 人口：約200万人
- 公用語：ドイツ語

➤ 街の特徴

- ・「音楽の都」モーツァルトやシューベルト、シュトラウス
- ・周辺の多様な文化圏からの影響を受けた豊かな文化都市
 - 美術品や食文化、ハロウィーンやクリスマスマーケット
- ・自然に近い
 - ドナウ川や周辺の山でのハイキング
- ・時間の流れが遅い
 - 落ち着いてゆったりとした国民性

cf. 世界住みやすさランキング第1位（2022年）



3

WUについて

➤ ウィーン経営・経済大学(Wirtschaftsuniversität Wien)

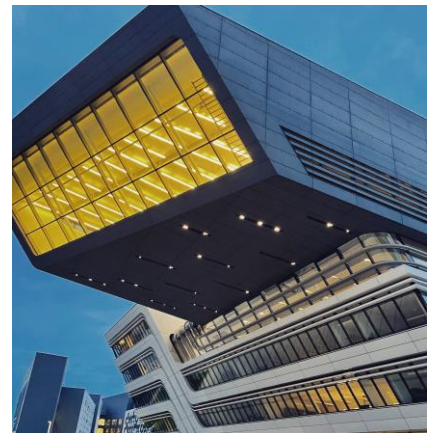
- ・ヨーロッパ有数のビジネス・経済学を専門とした公立大学
- ・ドイツ語と英語による授業が開講されている
- ・キャンパスは観光スポットになっている他、多様な環境対策が施されている

e.g. 2019年、カーボンニュートラル*を達成

炭素の排出量が合計0になること

- 使えるプリント紙の枚数が決められている
- 水を用いた効率的な空調システム

*温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすること。主に排出の「削減」と「吸収」により目指される。



4

学生生活について

➤ 授業

- ・マーケティングと経済学について学習
- ・必ずグループワークが授業内容に含まれていた

【授業例】：「気候変動に関する政策提言」

- ・研究機関や政策機関からのプレゼン
- ・自分で政策を考え、政策としてまとめる

Cf. 「EUにおける環境対策としての高速鉄道利用の可能性」

➤ アメリカンフットボール

一週3回の練習

一チームメイトのほとんどがオーストリア・ドイツ人

一自分の興味や経験を活用



5

自己の内面的な成長

➤ ・苦勞した経験

- ・英語やドイツ語が通じずに議論に参加できない。
- ・異なるルール。

➤ 苦勞の中で得たもの

①コミュニケーション能力の向上

- ・自分から話しかける。

②日本人としてのアイデンティティ

- ・「日本ってどうなの？」
- ・日本の良い所 / 悪い所



6

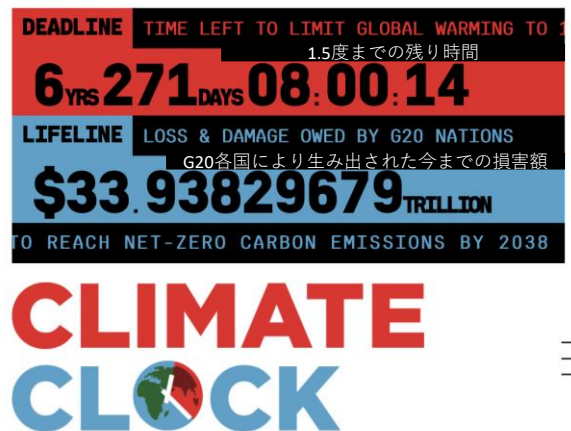
ウィーンの問題に対する 先進的な取り組み

- きっかけ：デンマーク人の質問
 - ・「環境問題についてどのくらい考えている？」
- 簡単な質問にさえ、まともに答えることができなかった
- 環境問題に対する意識的な差
- ウィーンで生活すると気づく色々な取り組み

7

現時点で気候変動ってどういう状態にあるの？

- Climate Clock
 - ・ パリ協定の +1.5度まで7年未満
 - ・ 期間内に有効な対策を打たなければ、人類にとって危機的な状態に陥る。
 - 予想される被害
 - ・ 異常気象の頻発による自然・経済・社会への被害
- e.g. 令和元年東日本台風
- ・ 世界のGDPは約 16 % 減少する可能性



* Climate Clock, <https://climateclock.world>, 22/10/24 閲覧

8

【例①】：環境に良くないものを 使わない

➤ビニール袋の不使用

- ・ビニール袋から紙袋へのシフト
- ・レジ袋の有料化、3 ユーロ

➤日本では？

- ・レジ袋は有料化されているが、未だにビニール袋の使用
- ・野菜の包装にもビニールを使用

→一貫していない対策ではないだろうか



* BILLA.at

9

【例②】：環境に優しいものを推奨

➤電気自動車が使いやすい環境整備

- ・400m毎に1基の充電ステーション
 - ・月額10ユーロ程度の利用料
 - ・ガソリンスタンドよりも見つけやすい
- EVカーを検討しやすくする

➤2021年に新車として登録される総数の13.9%がEV

Cf. 2020年：6.4%

↔日本：1%未満



10

【例③】：環境問題の見える化

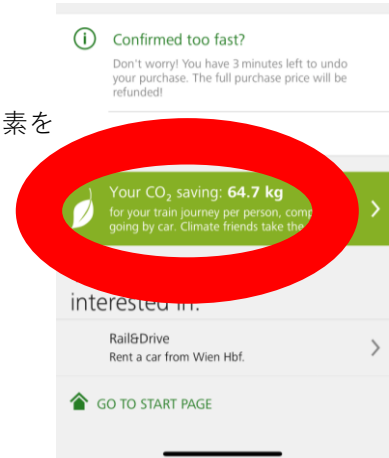
➤チケットに表示されるCO2排出量

【画像】 ミュンヘンーザルツブルク間の電車切符

「自動車と比較して、電車を選んだことでどれだけ二酸化炭素を排出せずにすんだか」

➤KlimaTicket

- ・国内の交通公共機関が使い放題
- ・1095ユーロで13ヶ月間有効



11

環境問題へ意識を向けてみるのが大切

- 一人ひとりが危機感と知識を身につける
- 政府や企業など社会と危機感を共有する
 - ・デモに参加してみる
 - ・選挙で環境問題に注目して投票する
 - ・環境に優しい商品を選んで購入する



12

ご静聴ありがとうございました。

このような貴重な留学経験を実現するにあたり、多大なるご支援をくださった小山台財団様に感謝申し上げます。

13

参考文献

- Wien Energie, “Vienna Refuel”

<https://www.wienenergie.at/privat/produkte/e-mobilitaet/unterwegs-laden/tanke-tarife/>

- WEF, 「グローバルリスク報告書2022年版」

https://www3.weforum.org/docs/WEF_GRR22_Press_Release_Japanese.pdf (日)

https://www3.weforum.org/docs/WEF_The_Global_Risks_Report_2022.pdf (英)

- KlimaTicket

<https://www.klimaticket.at/en/>

- The Mayor.eu, Denis Baragalov, “Flood of new electric cars in Austria”,

<https://www.themayor.eu/en/a/view/flood-of-new-electric-cars-in-austria-9801>

14